

委員会において

■経済委員会(農林水産部、商工労働観光部)

- コロナ禍における農林水産業・県内中小企業への影響と支援
⇒状況に応じた必要な対策と予算確保が必要
- 原油価格高騰の影響把握と対策
⇒関係団体からの要請と合わせ、本会議において国に対し「原油価格高騰に対する総合的な対策を求める意見書」を採択
- 東京オリ・パラへの県産食材供給の実績と、今後の展開について
県産の米、スタチ、白ナス、阿波尾鶏が選手村で供給された
ターンテーブルを核として、周辺飲食店へ県産食材提供が増加
⇒関西万博を見据え、コロナ後の県産食材の戦略的なPRが重要
- 県内企業のDX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み支援
“何から始めたらよいのか?” “どんなことができるのか?”などの相談先→「DX推進センター」
⇒サポート体制、先進事例紹介を充実させ、中小企業の持続的発展を支援することが重要
その他に・気候変動に対応する研究開発 ・米価低下対策(飼料用米、あきさかり)
 - ・鳥獣被害対策・ジビエ活用 ・営農型太陽光発電における適正な営農継続
 - ・テクノスクールの取組み ・工業技術センターでの5G、AIなど先進技術支援
 - ・県内観光産業支援(宿泊助成“応援割”)
 - ・海外への販路拡大の取組みと県内経済への効果など質疑・要望



県産食材マルシェ
ターンテーブル(東京・渋谷)

■コロナ禍の観光振興 観光振興議員連盟 視察【脇町、藍よしのがわトロッコ】(令和3年11月)

コロナ禍の現在、県内の宿泊業や飲食業、バスやタクシー業界などの観光関連業種は大きな影響を受けていますが、アフターコロナを見据えた観光振興の準備が必要です。改めて地元の観光資源を再発見し、それをしっかり活かせるよう磨きをかけることが大切です。日本国内外に向けてのPR戦略や受入れ態勢の拡充など、現場の方々のご意見をいただき、しっかりと支援していく必要があります。

うだつの町並みなどの歴史的建造物や、吉野川の流れや風を感じられるトロッコ列車など、徳島には観光資源となる豊かな文化や自然が数多く存在します。



■次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

- 待機児童の状況把握と対策
待機児童数は減少傾向にあるものの、希望する保育所等へ入所できない状況
⇒保育所整備とともに、保育士の確保や保育助手の活用を増やすことが重要
 - 産前産後サポート事業 産後ケア事業(←妊娠、出産、産後の相談支援、心身のケアサポート)
【現状】産前産後サポート事業は15市町、産後ケア事業は17市町が実施
未実施市町では各母子保険事業でカバーしているが、産後ケア事業は令和3年4月から実施努力義務に
⇒コロナ禍で不安を抱える親も多い。未実施市町村をサポートし、産前産後の不安解消が重要
 - ネット上の誹謗中傷(タブレット利用など、インターネットが身近になったことによる弊害)
実態把握・令和元年 全国のいじめ認知件数のうち**2.9%**が、パソコンや携帯電話等における誹謗中傷
・令和2年 県教委の抽出調査で、これまでにネット上で悪口や嫌がらせの経験あり**9.7%**
⇒何気ない書き込みでも相手を傷つけること、一気に広がってしまう怖さなど、インターネット利用に
関してのルールやマナーを、子供も保護者も研修などで学び実行していくことが重要
- その他に・成人のスポーツ実施率(1回/週)・・・目標65%に対し今夏の調査で65.5%
・総合型スポーツクラブ(コロナ禍におけるオンライン運動教室)
⇒健康寿命を延ばすため、運動の機会の創出が重要など質疑・要望